

令和５年度主要施策の成果について

新庄市教育委員会

教 育 費

教育総務課

1 学校図書館図書整備事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

学習指導要領が示す「言語に関する能力の育成」を目指し、子どもたちの読書への意欲向上のため、継続して学校図書館の図書の整備を行った。

○図書整備費 小学校 1,617,000 円、中学校 1,863,000 円、義務教育学校 2,519,995 円

	令和 4 年度			令和 5 年度				
	年度末 蔵書冊数	図書基準冊 数	蔵書基 準達成 率	年度中 整備冊 数 (寄贈等 含)	年度中 廃棄冊 数	年度末 蔵書冊数	図書基準 冊数	蔵書基 準達成 率
小学校	75,059 冊	48,560 冊	154.57%	2,422 冊	1,182 冊	76,299 冊	49,240 冊	154.95%
中学校	45,994 冊	45,120 冊	101.94%	2,862 冊	1,047 冊	47,809 冊	45,120 冊	105.96%
合計	121,053 冊	93,680 冊	129.22%	5,284 冊	2,229 冊	124,108 冊	94,360 冊	131.53%

※義務教育学校分の図書基準冊数については、義務教育学校の前期課程を小学校の基準で、後期課程を中学校の基準で計上している。

○学校図書館ネットワークシステム使用料 475,200 円

小学校 193,600 円 中学校 158,400 円 義務教育学校 123,200 円

○学校図書館システム用パソコン借上料 299,640 円

小学校 136,200 円 中学校 81,720 円 義務教育学校 81,720 円

＜成果＞ 蔵書冊数の増加により学校図書が充実した。また、学校図書館蔵書管理ネットワークシステムを活用し、図書の有効活用を図ることができた。

2 学校教材整備事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

(1) 学校教材備品整備事業

学習指導要領に基づき、計画的に教材用備品の整備を行った。

○整備金額 小学校 1,780,901 円 中学校 1,412,310 円 義務教育学校 1,981,789 円

＜成果＞ 時代のニーズに合った教材用備品の整備により、学習環境の充実を図ることができた。

(2) 学校理科教材整備事業

学習指導要領に基づき、毎年度、理科教育用備品を計画的に整備している。令和 5 年度は、小学校 2 校、中学校 1 校で理科教育用備品を整備した。

○整備金額 1,028,610 円 (内、国庫補助金 499,000 円)

＜成果＞ 理科教育に必要な備品を計画的に整備したことにより、学習環境の充実を図ることができた。

3 情報教育推進事業

- (10 款 2 項 2 目 小学校コンピューター教育振興事業費、
- 10 款 3 項 2 目 中学校コンピューター教育振興事業費、
- 10 款 4 項 2 目 義務教育学校コンピューター教育振興事業費)

＜主な事業費＞

情報教育環境等の維持管理

○学校教育用 I C T 関連機器メンテナンス業務委託料

小学校 1,706,100 円 中学校 1,621,400 円 義務教育学校 2,117,500 円

○校務用ノートパソコン等機器一式借上料

(校務用 P C、プリンター、サーバー、関連ソフトウェア等のリース契約)

小学校 10,320,948 円 中学校 7,696,656 円 義務教育学校 8,951,976 円

○P C、I C T 機器等修繕料

小学校 335,500 円 中学校 203,500 円 義務教育学校 349,250 円

G I G A スクール構想推進関係

○学校タブレット端末用フィルタリングソフト更新業務委託料

小学校 1,708,960 円 中学校 975,040 円 義務教育学校 1,846,240 円

○統合型校務支援システム賃借料 1,950,960 円

＜成果＞ G I G A スクール構想に基づいて整備した校内通信ネットワーク及び児童・生徒 1 人 1 台のタブレット端末を活用し、I C T 教育を推進した。また、各学校に導入されている校務用 P C、I C T 機器の定期的な点検とメンテナンスの実施等により、通信障害などのトラブルに迅速に対応し、情報教育環境の整備に努めた。

4 学校施設整備・管理事業

- (10 款 2 項 1 目 小学校管理運営事業費、10 款 3 項 1 目 中学校管理運営事業費、
- 10 款 4 項 1 目 義務教育学校管理運営事業費)

各学校施設については、老朽化による突発的な修繕が年々増加する傾向にあり、児童・生徒の安全・安心を守るため、施設の計画修繕及び緊急修繕、備品の整備を行い施設の維持管理を行った。

(工 事)

	備 品 名	購 入 額
小学校	日新小学校プール改築工事の内 主体工事	101,530,000 円
	日新小学校プール改築工事の内 機械設備工事	30,228,000 円
	計	131,758,000 円
中学校	新庄中学校体育館吊り天井部改修工事	15,851,000 円
	計	15,851,000 円

(修 繕)

	修 繕 名	請 負 額
小学校	新庄小学校体育館外壁改修修繕	2,607,000 円
	新庄小学校昇降口屋根防水修繕	4,180,000 円
	本合海小学校校舎棟屋根塗装修繕	5,280,000 円
	新庄小学校体育館 LED 照明修繕	3,333,000 円
	升形小学校 1 階トイレ洋式改修修繕	3,476,000 円
	その他修繕 66 件	23,353,110 円
	学校配当分	169,851 円
	計	42,398,961 円
中学校	日新中学校エアコン設置修繕	2,310,000 円
	新庄中学校特別支援教室エアコン設置修繕	1,276,000 円
	八向中学校教室棟屋根塗装修繕	4,917,000 円
	日新中学校校舎棟 LED 照明修繕	5,451,600 円
	八向中学校 FF 暖房機交換修繕【緊急修繕】	562,100 円
	その他修繕 34 件	5,166,942 円
	学校配当分	17,710 円
	計	19,701,352 円
義務教育 学校	萩野学園南校舎 2 階トイレ換気扇交換修繕	451,000 円
	明倫学園体育館棟外部投光器回路振分修繕	330,000 円
	萩野学園職員女子トイレ等換気扇交換修繕	393,800 円
	明倫学園体育館雪囲い金物設置修繕	546,700 円
	明倫学園校舎棟外部投光器回路振分修繕	543,400 円
	その他修繕 8 件	749,540 円
	計	3,014,440 円

(備 品)

	備 品 名	購 入 額
小学校	升形小学校児童用机・椅子 各 29 台	584,727 円
	升形小学校赤外線オイルヒーター	297,000 円
	その他備品 3 件	124,920 円
	計	1,006,647 円
中学校	日新中学校生徒用机・椅子 各 95 台	1,689,050 円
	新庄中学校・八向中学校スポットクーラー (各校 2 台)	663,520 円
	その他備品 5 件	104,480 円
	計	2,457,050 円
義務教育 学校	明倫学園児童用机・椅子 各 80 台	1,613,040 円
	萩野学園児童用机・椅子 各 50 台	1,094,500 円
	萩野学園スポットクーラー 2 台	331,760 円
	萩野学園ブルーヒーター 3 台	235,180 円
	その他備品 8 件	367,510 円
	計	3,641,990 円

＜成果＞ 学校施設の保守点検及び法定点検を行うとともに、計画的に修繕を実施した。また、設備の不具合等について早期に対応し、かつ学校生活に必要な備品を整備することで、安全・安心な教育環境の維持・管理に努めた。

5 義務教育学校建設事業 (10 款 4 項 4 目 明倫学園建設事業費)

施設一体型義務教育学校「明倫学園」について、地域に根ざした学校として整備を進めた。

＜主な事業費＞

グラウンド整備

委 託 名 ・ 工 事 名	請 負 額
明倫学園グラウンド整備工事	契約金額 379,377,900 円
	内 5 年度支出額 379,377,900 円
明倫学園グラウンド整備工事監理業務委託	契約金額 2,607,000 円
	内 5 年度支出額 2,607,000 円
	5 年度支出額 381,984,900 円

建物周辺外構整備

委 託 名 ・ 工 事 名	請 負 額
明倫学園建物周辺外構工事	契約金額 265,172,600 円
	内 5 年度支出額 171,232,600 円
明倫学園建物周辺外構工事の内 機械設備工事	契約金額 36,908,300 円
	内 5 年度支出額 23,796,300 円
明倫学園建物周辺外構工事の内 電気設備工事	契約金額 13,310,000 円
	内 5 年度支出額 7,990,000 円
明倫学園建物周辺外構工事の内 自転車置き場建設工事	契約金額 32,389,500 円
	内 5 年度支出額 19,893,500 円
明倫学園建物周辺外構工事監理業務委託	契約金額 3,311,000 円
	内 5 年度支出額 3,311,000 円
	5 年度支出額 226,223,400 円

＜成果＞ 令和 5 年 7 月に、グラウンド整備工事及び建物周辺外構工事が完了し、義務教育学校明倫学園が完成したことで、施設一体型小中一貫教育の環境づくりが推進された。

6 安全安心通学プラン推進事業

(1) 通学路安全対策

通学路の危険箇所について、関係機関と共同の安全点検などを行った。

○通学路の危険箇所把握数・・・15 箇所

○緊急合同総点検実施箇所・・・0 箇所

○安全対策の実施済箇所・・・15 箇所うち学校が実施 11 箇所

＜成果＞ 通学路の点検や危険箇所の把握に努め、緊急に対応が必要な箇所について改善を図ることにより、防犯・交通安全対策を強化することができた。

(2) 通学手段確保対策（10 款 1 項 2 目 通学手段確保対策事業費）

通学に路線バスを利用する児童・生徒の保護者に対して、交通費の全額補助を実施した。

○夏季補助申請人数 14 人分

○冬季補助申請人数 52 人分

○通学手段確保対策事業費補助金 843,278 円

＜成果＞ 通学に路線バスを利用する児童・生徒の保護者の負担を軽減することができた。

7 奨学支援事業（10 款 1 項 2 目 教育委員会事務局運営事業費）

将来の担い手となる若者の回帰定着等を促進し、不足する人材を確保するため、次の事業を行った。

(1) ふるさと創生人材確保事業

人材が不足する理工系、保育系及び看護系の学生へ支援を行うため、最上育英会に負担金を支出して月額 4 万円の奨学金を貸与する。学校卒業後 6 カ月以内に市内の事業所等へ就職した場合は、奨学金の返還が半額免除となる。

○最上育英会への負担金 14 名分 6,720,000 円

＜成果＞ 人材が不足している市内の事業所等への若者の就職を促すことにより、地域を支えていく人材の育成と確保につなげることができた

(2) やまがた就職促進奨学金返還支援事業

山形県と連携して若者の回帰・定着を促進し地域のリーダー的人材を確保するため、県基金（県・市町村共同で積立）を活用し、奨学金の貸与を受けている学生を対象として、奨学金返還に係る支援を行う。

○令和 5 年度新規支援対象者 5 名分 1,716,000 円（基金より充当（市負担なし））

（出捐金累計額 49 名分 13,998,000 円）

＜成果＞ 本市の将来を担う若者を支援することにより、本市への回帰、地元への定着に向けた一助となった。

学校教育課

1 令和5年度児童生徒の在籍状況（令和5年5月1日現在）

各学校の児童生徒数を把握し、関係諸法に基づき、適正な学級編制並びに教職員配置を行った。

区 分	学校数	学級数	児童生徒数	教職員数	備 考
小 学 校	4 校	49 学級	883 名	89 名	教員・養教・事務・栄養・市職他
中 学 校	3 校	27 学級	480 名	64 名	教員・養教・事務・市職他
義務教育学校	2 校	50 学級	967 名	106 名	教員・養教・事務・栄養・市職他
合 計	9 校	126 学級	2,330 名	259 名	※学校基本調査

＜成果＞正確な状況把握により、各学校における教育の機会均等及び義務教育水準の維持向上につながった。

2 学校経営指導事業

教育基本法の趣旨にのっとり、各学校における組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導などについて、経営上の課題を把握しながら諸会議や学校訪問を通して指導を行った。

・訪問回数 49 回（教育委員会訪問 4 回・教育長訪問 27 回・指導主事訪問 18 回）

＜成果＞各学校を訪問し、学校経営の改善、授業改善への指導・助言を行ったことで、学校の活性化及び教育水準の維持向上、地域の実情に応じた教育の振興につながった。

3 児童生徒及び教職員の健康管理（疾病の早期発見と予防）

（10 款 2 項 3 目 小学校保健対策事業費、10 款 3 項 3 目 中学校保健対策事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校保健対策事業費）

学校保健安全法、結核予防法、労働安全衛生法等に基づき、各学校における保健管理及び安全管理として、児童生徒健康診断及び教職員健康診断、ストレスチェックを実施した。

・児童生徒健康診断実施期間：4 月～6 月

（1）内科検診 （2）眼科検診 （3）歯科検診 （4）耳鼻科検診
（5）結核検診 （6）心電図検査 （7）尿検査

・教職員健康診断、ストレスチェック実施日：7 月 27 日、8 月 3 日

＜成果＞児童生徒並びに教職員の健康の保持増進と学校保健を推進したことで、学校教育が円滑に行われた。また、教職員ストレスチェックを行い、各自が自己のストレスを認知することで、精神面における健康管理を行うことができた。

4 就学時健康診断の実施

（10 款 2 項 3 目 小学校保健対策事業費、10 款 3 項 3 目 中学校保健対策事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校保健対策事業費）

学校保健安全法の趣旨に基づき、来年度の就学児を対象に下記の健康診断等を実施した。

（1）内科検診 （2）眼科検診 （3）歯科検診 （4）視力検査 （5）聴力検査
（6）ことばの検査 （7）知能検査 （8）教育相談

・会場 4 箇所（新庄小 9/5、明倫学園 9/7、日新小 9/12、萩野学園 9/14）

＜成果＞就学児の健康状態等を把握することで、新年度における指導が円滑に行われた。

5 補助金等の交付状況

(1) 各種大会出場奨励事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費)

10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

児童生徒が個人又は団体として予選大会を勝ち進み、東北大会以上の大会に出場する場合に、各学校からの申請をもとに出場奨励費及び出場助成金を支給した。

・交付額 小学校 【東北大会】 0 人 0 円 【全国大会】 0 人 0 円
中学校 【東北大会】 12 人 243,784 円 【全国大会】 2 人 180,657 円
義務教育学校【東北大会】 9 人 183,660 円 【全国大会】 0 人 0 円

＜成果＞出場奨励費を支給することで、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興につなげ、大会に参加する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。

(2) 就学援助費並びに特別支援教育就学奨励費交付事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、

10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

生活保護世帯、生活保護に準ずる世帯及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、教育に要する経費の一部を補助した。

・交付先 要保護及び準要保護児童生徒の保護者と特別支援学級在籍児童生徒の保護者

・交付額 25,083,771 円

	就学援助費目(支給人数)	実支給額	国庫・県補助金
入学前	小学校入学前準要保護児童援助費(13人)	657,800 円	
	中学校入学前準要保護児童援助費(12人)	688,800 円	
	義務教育学校入学前準要保護児童援助費(18人)	985,600 円	
小学校	要保護及び準要保護児童援助費(100人)	6,745,227 円	
	特別支援教育就学奨励費(27人)	999,585 円	特別支援教育就学奨励費 499,500 円
中学校	要保護及び準要保護生徒援助費(49人)	5,923,584 円	
	特別支援教育就学奨励費(15人)	953,060 円	特別支援教育就学奨励費 470,000 円
義務教育学校	要保護及び準要保護児童生徒援助費(80人)	6,936,297 円	
	特別支援教育就学奨励費(29人)	1,193,818 円	特別支援教育就学奨励費 595,500 円

※国庫・県補助金は実支給に対する財源となる。

＜成果＞生活保護世帯等の経済的に困窮する保護者に、教育に要する経費の一部を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と児童生徒の精神的負担の緩和を図ることができ、より良い就学環境が整えられた。

(3) 学校給食費補助事業

(10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費)

○学校給食費補助金

学校給食運営委員会に対し、学校給食費 1 食あたり小学生は 15 円、中学生は 20 円の補助金を交付した。

・交付額	小学校	4 校	1,451,610 円
	中学校	3 校	1,702,080 円
	義務教育学校	2 校	2,187,995 円

○第 2 子児童等学校給食費半額免除事業費補助金

学校給食運営委員会に対し、第 2 子児童等の学校給食費の半額の補助金を交付した。

・交付額	小学校	4 校	9,874,950 円
	中学校	3 校	876,780 円
	義務教育学校	2 校	7,268,850 円

○第 3 子児童等学校給食費無償化事業費補助金

学校給食運営委員会に対し、第 3 子以降児童等の学校給食費の全額の補助金を交付した。

・交付額	小学校	3 校	3,247,200 円
	義務教育学校	2 校	2,403,000 円

＜成果＞補助金を交付することで、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進することができた。

(4) 学校給食の運営にかかる負担金支出事業

(10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費)

学校給食運営委員会に対し、学校給食費のうち保存食等の学校給食の運営に係る経費を負担した。

・支出額	小学校	4 校	277,310 円
	中学校	3 校	226,400 円
	義務教育学校	2 校	279,120 円

＜成果＞学校給食衛生管理基準に基づく保存食や微生物検査等にかかる経費等を負担することで学校給食事業の円滑な運営に寄与した。

(5) 学校給食物価高騰対策支援事業

(10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、
10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費)

学校給食運営委員会に対し、物価高騰分として、学校給食費 1 食当たり 30 円の補助金を交付した。

・交付額	小学校	4校	5,257,140円
	中学校	3校	2,646,270円
	義務教育学校	2校	5,429,610円

＜成果＞補助金を交付することで、コロナ禍の物価高騰の状況においても保護者の学校給食費の負担を引き上げることなく、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進することができた。

6 小中義務教育学校給食管理運営事業

(10款2項3目 小学校給食管理運営事業費、10款3項3目 中学校給食管理運営事業費、10款4項3目 義務教育学校給食管理運営事業費)

安全・安心で良質な栄養バランスのとれた学校給食の安定供給に努めた。

(1) 栄養教諭を核とした食育の推進

献立検討会を通して食育の推進に向けた情報提供等を行った。

・推進体制 栄養教諭 3名 学校栄養士 2名 調理師等 36名（直営 6名、委託 30名）

(2) 地産地消による学校給食の充実

市農林課と連携し、地場産作物を積極的に取り入れた学校給食の提供を行った。

・給食で提供した主な地場産作物

大根 1,601 kg、白菜 1,069 kg、ねぎ 1,445 kg、里芋 93 kg、わらび 86 kg、

ほうれん草 247 kg、みず 107kg、きのこ 658kg 等

(3) 学校給食調理師研修会の開催

学校給食従事者の衛生管理に対する意識を高め、食中毒等の事故発生を未然に防止するとともに、地産地消を含めた学校給食食材に対する理解を深めることを目的に研修会を開催した。

・研修日 8月7日（月）

・参加者 11名

・内容 最上保健所 食品衛生に関する講話
伝承野菜等の畑視察

(4) 衛生管理の実施

・検便（赤痢菌・サルモネラ・大腸菌） 月2回実施

・ノロウイルス検便 月1回実施（10月～3月）

＜成果＞栄養摂取状況を確認しながら栄養バランスのとれた献立を作成しつつ、地場産農産物を給食に取り入れ、食育を推進することができた。また、学校給食従事者に対する研修の実施により衛生管理に対する意識を高めることができた。

7 小中一貫教育推進事業（10款1項5目 小中一貫教育推進費）

義務教育9年間を通して、学力向上、生徒指導、ふるさと学習の充実に努めた。

・9年間でめざす子どもの姿と指導の共有

- ・各小中義務教育学校運営協議会・各中学校区小中一貫教育推進協議会の開催
- ・新庄市小中一貫教育推進協議会の開催

＜成果＞義務教育学校における成果検証と発信、小中一貫教育推進協議会における意見交流等を通して、地域に根ざした特色ある小中一貫教育を進めることができた。

8 教育の日推進事業（10款1項3目 学校教育指導事業費）

新庄市教育の日及びコスモス教育週間を設定し、全市民を挙げて教育を見つめる気運を高めるとともに、より良い教育環境づくりの推進に取り組んだ。

- ・コスモス教育週間（文化の日 11/3 前後 2 週間）の周知

令和 5 年 10 月 19 日（木）～11 月 16 日（木）

- ・各教育機関の活動写真の展示や活動を紹介する掲示等

令和 5 年 10 月 23 日（月）～11 月 2 日（木）ゆめりあ 花と緑の交流広場

令和 5 年 11 月 11 日（土）～11 月 16 日（木）新庄市民プラザ 市民ホール

- ・記念行事の開催 令和 5 年 11 月 11 日（土） 新庄市民プラザ

（市内幼稚園、小中義務教育学校、高等学校、山形大学エリアキャンパスもがみによるステージ発表、地域団体による体験参加型ブース展開）

委託料 230,000 円

- ・コスモス教育週間の推進（期間中における文化的な学校行事の集中的な実施）

＜成果＞各教育機関における幼児の活動や児童生徒、学生の学習の成果をステージ発表や活動写真を展示し、また、地域団体による体験参加型のブースを展開することで、子どもたちの活躍する姿を伝えるとともに、市民の教育に対する関心を高めることにつながった。

9 学校のつばさ支援事業（10款1項3目 学校教育指導事業費）

各学校が地域と連携しながら、児童生徒の実態や地域の特性に応じた特色ある学校づくりを計画的かつ柔軟に推進するとともに、自主的で創造的な取組みを実践した。

- ・推進体制 中学校区ごとに「特色ある学校づくり推進委員会」を設立し、事業を展開した。

新庄中学校区	新庄中、新庄小	委託料	695,000 円
日新中学校区	日新中、日新小	〃	919,000 円
八向中学校区	八向中、本合海小、升形小	〃	535,000 円
明倫学園		〃	866,000 円
萩野学園		〃	755,000 円

＜成果＞保護者や地域住民等からの協力により多様な教育活動を実施することができ、児童生徒の地域への新たな学びに繋がった。事業を通し各学校において地域に根ざした特色ある教育活動の具現化を進めることができた。

10 特別支援教育及び就学指導推進事業（10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費）

障がいをもつ幼児・児童生徒が能力・適性にあった望ましい教育が受けられるように、障がいの程度に応じた適切な判断と就学指導及び支援を行った。また、特別支援教育センターを設置し、特別支援指導員による学校支援や、適正就学に向けた関係機関との連携を行った。

- ・推進体制 教育支援委員会 20 名（医師、小中義務教育学校の教職員、福祉関係者等）
年 2 回実施（7 月、10 月）
在学児童生徒及び就学時の適正就学に向けた相談・判断
特別支援指導員 1 名

＜成果＞巡回相談を行い、障がいをもつ幼児・児童生徒の教育的なニーズを把握し、生活や学習の困難を改善又は克服するための指導や支援、保護者との面談を行ったことで適正就学に結びつけることができた。

11 不登校適応教室等指導事業（10 款 1 項 3 目 不登校適応教室指導事業費）

不登校傾向及び不登校である児童生徒に対し、適応指導教室における週 3 回（月・水・金）の学習支援や月 2 回程度の体験活動（ものづくり、栽培・販売、キャリア学習等）、また、学校へ訪問しての学習支援や相談活動、関係機関との連絡会への参加や電話相談など、個々に応じた必要な支援を行った。

- ・推進体制 教育相談員 3 名 教科指導員 3 名

＜成果＞不登校傾向の児童生徒はもちろんのこと、その保護者を含めた相談活動を積極的に行い、学校と連携しながら、学校生活の適応につながるような支援を行うことができた。

12 山大エリアキャンパスもがみ運営事業（10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費）

学校における教育活動や地域の活性化を目的に、山形大学との連携のもと、教育実習の大学生の受け入れを行った。

- ・教育実習生の受入人数 11 人
- ・教育実習生の受入先 新庄小、日新小、升形小、新庄中、日新中、明倫学園、萩野学園

＜成果＞教育実習生を受け入れることで、受け入れ校は授業づくりや指導方法、学校と地域とのつながり等を見つめ直す機会となり、教育の活性化につなげることができた。また、学生においては、本市ならではの小中一貫教育や地域と密着した教育活動などを学ぶことができた。

13 学校・家庭・地域連携協働推進事業（10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費）

各学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校における働き方改革の取組を推進するため、学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助金を活用し、協働活動支援員を配置した。また、事業の更なる充実を図るため、市内の小学校 2 校に市単独予算において学校司書を配置した。

- ・推進体制 小中義務教育学校
学校司書 2 名（新庄小学校、日新小学校）
協働活動支援員 7 名（上記 2 校を除く学校、各 1 名）

＜成果＞学校図書館に常時職員がいることにより、図書館の機能強化や読書好きな児童生徒を増やすことができ、学力の向上と学校教育全般の充実を図ることができた。また、学校司書を中心とした情報の共有化や連携の強化により、各校において安定した図書館運営を維持することができた。

14 国際理解教育推進事業（10 款 1 項 3 目 国際理解教育推進事業費）

学校において英語により親しみ、異文化交流やコミュニケーション能力の育成を日常的にできることを目的に 4 名の A L T を配置した。また、授業で学んだ英語を活用し、国際理解の促進を図るためにイングリッシュキャンプを開催した。

- ・ A L T の学校派遣日数累計 720 日

＜成果＞児童生徒が外国語に触れ、外国の生活や文化に慣れ親しむ活動が増えたことで、発達段階に応じた外国語指導が充実した。

15 教育研究所事業

教員の資質向上及び教育実践の活性化を目指し、教育の充実に関する調査・研究、教員研修等の各実践研究を進めた。

- ・ 学校経営研修講座、学校運営研修講座、教務主任研修講座の実施
- ・ 学力向上研究委員会、生徒指導委員会、特別支援教育委員会、英語教育委員会、I C T 委員会、社会科指導資料作成委員会、所報編集委員会の開催

＜成果＞学習指導要領への対応、I C T の活用等の喫緊の教育課題に対する研修等を、外部講師を招聘しながら年間を通して計画的に開催したことで、教員の資質向上及び教育実践の充実と教育課題を解決することに役立った。

16 標準学力検査実施事業

（10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費）

義務教育期間の各段階において、学習内容の定着を確認するために、標準学力検査（N R T）と知能検査を実施した。

- ・ 学力検査
小学校 2・3 年生 2 教科（国語・算数）
4・5 年生 4 教科（国語・算数・社会・理科）
6 年生 5 教科（国語・算数・社会・理科・英語）
中学校 1～3 年生 5 教科（国語・数学・社会・理科・英語）
- ・ 知能検査
小学校 2・4・6 年生
中学校 2 年生

＜成果＞客観的な尺度を用いた学力の定着を確認し、課題の分析をすることで授業の改善につなげることができた。

17 児童生徒の個別支援事業（10 款 1 項 3 目 児童生徒個別支援事業費）

学校生活や学習を行う上で特別な支援が必要な児童生徒や、その児童等が在籍する学級への教育的支援を行うため、必要とする各学校に個別学習指導員を配置した。併せて 3 名の特別支援教育支援員を配置し、特別支援学級における支援を強化した。

・推進体制

個別学習指導員 21 名

新庄小：4 人 日新小：6 人 新庄中：1 人 八向中：1 人 明倫学園：6 人
萩野学園：3 人

特別支援教育支援員 3 名

新庄小：1 人 日新小：1 人 日新中：1 人

＜成果＞学校教育活動に参画し必要な支援を行うとともに、教員との協力的指導を行うことで、当該児童生徒を含む個々の学習と学級全体の活動を充実させることができた。

18 部活動指導員配置促進事業（10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費）

教職員の多忙化の要因の一つとなっている中学校の部活動指導において担当教職員の負担を軽減させるため、市内中学校 2 校・義務教育学校 2 校に部活動指導員を配置した。

・推進体制

部活動指導員配置校：新庄中、日新中、明倫学園、萩野学園

＜成果＞部活動指導員の配置により、部活動を担当している教員が保護者面談や進路指導など部活動以外の時間を確保することができた。

19 新聞を活用した教育活動への支援事業（10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費）

新聞を読む機会を増やし授業に役立てることで、情報・読解力を向上させ、地域の記事に触れることを通して郷土愛の醸成を図るため、市内中・義務教育学校（後期課程）に新聞を配布した。

・対象 市内中義務教育学校（後期課程）の全学年 31 学級

・実施期間 令和 5 年 5 月 1 日～令和 6 年 2 月 28 日（夏休みを除く 9 か月間）

＜成果＞新聞に親しむ生徒が増えてきており、個々の興味関心に合わせた学びを広げている様子が見えた。地域や県内の話題の記事を読むことで、地域への愛着の気持ちが培われてきている。

社会教育課

1 社会教育委員会議の開催（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

6 月 16 日（金）、2 月 21 日（水）（年 2 回開催）

＜成果＞市が実施する社会教育事業について、有識者である委員から意見を頂くとともに、市の社会教育の方向性などについて助言を頂き、効果的な事業の展開につなげることができた。

2 成人式の開催（10 款 5 項 1 目 成人式開催事業費）

新庄市内の中学校を卒業した方もしくは新庄市在住の方を対象に「二十歳を祝う会」を開催した。

対象者 令和 5 年度対象者 385 人（平成 14 年 4 月 2 日～平成 15 年 4 月 1 日生まれ）

＜成果＞対象者に自覚を促すとともに、ふるさとへの意識を再確認する機会を提供することを目的に成人式を開催している。実行委員会を組織し、式典中の企画運営や対象者への情報提供を行った。こうした活動を通し、地域を支える人材の育成が図られた。

3 学校・家庭・地域の連携協働推進（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

(1) 放課後子ども教室

萩野地区公民館 5 月～2 月（月 3 回程度） 25 日間 参加者 萩野学園児童延べ 321 人

本合海小学校 5 月～2 月（月 2 回程度開催） 12 日間 参加者 本合海小児童延べ 185 人

(2) 家庭教育の充実

- ・やまがた子育て講座（保護者等を対象とした講演会） 開催数：2 回 参加者：727 人
- ・幼児共育ふれあい広場（幼児・保護者等を対象にふれあい体験講座） 開催数：5 回（5 保育施設）
参加者：205 人

(3) コミュニティ・スクールの推進

- ・地域とともにある学校づくりを推進するため、市内全校に学校運営協議会制度を導入した。

新庄小学校運営協議会	委員数 9 名	4 回開催
日新小学校運営協議会	委員数 10 名	3 回開催
本合海小学校運営協議会	委員数 6 名	3 回開催
升形小学校運営協議会	委員数 6 名	3 回開催
新庄中学校運営協議会	委員数 9 名	3 回開催
日新中学校運営協議会	委員数 9 名	3 回開催
八向中学校運営協議会	委員数 7 名	3 回開催
萩野学園運営協議会	委員数 12 名	4 回開催
明倫学園運営協議会	委員数 14 名	3 回開催

- ・学校のニーズに応じた地域学校協働活動のコーディネートを実施した。

＜成果＞小学生の放課後等の居場所を提供するとともに、家庭教育力向上のため学校や保育所などの希望に応じた講師を選定し、家庭教育について考える機会を提供することができた。また、市内全 9 校で学校運営協議会活動が活性化したことで、市内全域で地域とともにある学校づくりを推進することができた。

4 青少年健全育成事業（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

（1）高萩市・新庄市児童交流事業（新庄市青少年育成市民会議事業）

①高萩ジャンボリー（高萩市へ訪問）

7 月 29 日（土）～30 日（日） 新庄市小学 5・6 年生 19 人 高校生ボランティア 5 人
中学生ボランティア 2 人 青年ボランティア 3 人
指導者・事務局 8 人参加

②萩っ子歴史探険隊（高萩市の児童を新庄市へ受入れ）

8 月 18 日（金）～20 日（日） 高萩市小学 5・6 年生 10 人、高校生 7 人、関係者 13 人参加

（2）新庄市子ども芸術学校 4 部門各 2～32 回開催（延べ 71 回） 参加登録児童 55 人

（3）青少年ボランティア体験

登 録 者

高校生ボランティアサークル「しずく」54 人、登録制青少年ボランティア「しずく R」14 人

中学生ボランティア「しずく J r」13 人、青年ボランティアサークル「o l d r o p」12 人

実 施 回 数 37 回

延べ参加人数 163 人

延べ活動時間 921 時間

＜成果＞青少年向けの各種事業を再開することができ、青少年健全育成の一助となった。加えて、指導者たる地域住民と青少年との世代間交流の場をつくることができた。また、高校進学後もボランティアの参加意向を示していることから、継続した社会活動への参加意識を醸成することができた。

5 男女共同参画社会推進事業（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

・男女共同参画週間（6/23～6/29）とキャッチコピー、新庄市男女共同参画の概要について市報 6 月号で市民に周知した。

・男女共同参画に係る様々な課題への対応を図り、本市における男女共同参画を一層推進するため、「第 2 次新庄市男女共同参画計画」の進捗状況把握に努めた。

＜成果＞多くの市民の意識向上を図ることで、新庄市男女共同参画計画を推進することができた。

6 地域公民館整備助成事業（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

市内の町内・集落等が社会教育活動を推進するため、地域公民館を新築・増築・改修、又は既設建物を取得もしくは敷地を購入するための補助を行った。

地域公民館整備助成件数 6 件 助成額 1,445,000 円

＜成果＞地域活動の拠点となる公民館の修繕などへの補助を行うことにより、地域における活動を推進することができた。

7 指定管理者による生涯学習施設の管理運営

・指定管理者制度活用施設

市民プラザ、市立図書館、市民文化会館、雪の里情報館、わくわく新庄

・上記のうち、利用料金制を導入している施設

市民プラザ、市民文化会館、雪の里情報館、わくわく新庄

◆市民プラザ（10 款 5 項 2 目 市民プラザ管理事業費）

（1）施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄（令和3年4月1日～令和8年3月31日）

指定管理料 45,638,000 円

②利用状況

・利用者数 81,098 人（前年度 64,561 人 16,537 人増）

・利用料金 7,680,030 円（前年度 7,652,170 円 27,860 円増）

③施設整備

第一ギャラリー及び第3研修室ファンコイル修繕、隠ぺい型ファンコイル修繕、自動火災報知設備交換修繕、冷却塔駆動部更新修繕、等 修繕料合計 4,920,190 円

④生涯学習センター運営審議会の開催 5月26日（金） 会場 わくわく新庄 出席委員6人

（2）各種事業の開催

①指定管理者提案事業

プラザ陶芸教室	5月21日（日）～12月10日（日）	参加者延べ174人
虹の交流塾	5月27日（土）～11月25日（土）	参加者延べ558人
園芸講座	7月7日（金）、10月26日（木）	参加者延べ48人
スマホ教室	2月22日（木）、3月14日（木）	参加者延べ39人
市民プラザ名画座	7月23日（日）	参加者延べ107人
キッズドリームワーク	7月30日（日）	参加者155人
夏休み！宿題ひろば	8月3日（木）～4日（金）	参加者延べ11人
料理教室	8月3日（木）～2月3日（土）	参加者延べ105人
プラザ絵画教室	6月7日（水）～11月11日（土）	参加者延べ91人
外国人サポート講座	9月9日（土）～12月16日（土）	参加者延べ60人
キッズフェスタ	9月24日（日）	入場者1,100人
映画事業	1月28日（日）	参加者延べ289人
がんばれ受験生！応援企画	1月29日（月）～2月29日（木）	参加者延べ120人

②市からの委託事業

日本語教室	4月20日（木）～2月18日（日）	受講者延べ404人
県美展・子ども県展 新庄巡回展	11月1日（水）～11月6日（月）	入場者延べ1,622人

③継続事業

月釜	4月16日（日）～11月19日（日）	来場者延べ341人
ふれあい市民ギャラリー （幼児から一般まで幅広い 作品を展示）	4月～3月（年18回）	出展者6団体・2個人、 来場者延べ約2,600人
市民プラザまつり	発表：3月10日（日） 展示：3月6日（水）～10日（日）	来場者延べ1,200人

（3）市民活動交流ひろば事業

利用状況

・各種機器利用料金 977,360 円（前年度 872,000 円 105,360 円増）

・機器利用、相談等来室者数 1,360 人（前年度 1,412 人 52 人減）

◆図書館（10 款 5 項 4 目 図書館管理運営事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 一般社団法人とらいあ（令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

指定管理料 49,115,000 円

②利用状況

・来館者数 70,647 人（前年度 65,593 人 5,054 人増）

・貸出人数 22,279 人（うち児童 2,524 人）

（前年度 21,992 人 287 人増 うち児童 2,722 人 198 人減）

・貸出冊数 116,101 冊（うち児童書 56,723 冊）

（前年度 114,672 冊 1,429 冊増 うち児童書 55,167 冊 1,556 冊増）

・受入れ冊数 購入 2,533 冊（図書購入費 4,500,000 円） 寄贈 1,033 冊

・蔵書冊数 145,784 冊

（一般書 99,298 冊、郷土資料 15,515 冊、児童書 28,701 冊、雑誌 2,270 冊）

③施設整備

・修繕料 1,394,911 円

吸収式冷温水発生機燃焼部品交換修繕、ハロゲン化物消火設備蓄電池取替修繕 等

・設計業務委託料 1,562,000 円

エレベーター改修工事実施設計業務委託

④図書館協議会の開催 5 月 26 日（金） 出席委員 4 人

(2) 各種事業の開催

第 60 回読書感想文コンクール（市委託事業）	対象：市内小・中・高校生及び一般 応募作品 112 点 12 月 2 日（土）表彰式
ブックスタート（市委託事業）	4 カ月健診時にあかちゃんに 2 冊の絵本をプレゼント 対象者 177 組
あかちゃんタイム	毎週水曜日 9:30～12:00 乳幼児を連れた保護者が気兼ねなく図書館を利用できる日を設定 参加人数 660 人
えほんぱーく	図書館ボランティアサークルかやのみ会による読み聞かせ 水曜日 10:00～ 年 10 回 参加者 75 人
親子でえほんライブラリー	子育て支援センターとの連携 5 月 16 日～3 月 15 日（年 6 回）参加者 74 組 貸出冊数 81 冊
公民館配本	選書、配本と図書の入れ替え（年 3 回） 貸出冊数 萩野地区公民館 131 冊、わくわく新庄 144 冊、 八向地区公民館 11 冊
移動図書館	移動図書館車にて、各施設での貸出返却を実施 保育所など（12 回） 13,415 冊 小・中学校（17 回） 5,000 冊 神室荘（12 回） 1,481 冊
戦争と平和のおはなし会	8 月 11 日（金） 参加者 25 人
英語と絵本の広場	第 3 土曜日（11 回）参加者 125 人
夏休みおべんきょうそうだん	7 月 29 日（土）、30 日（日） 参加者 36 人
図書館まつり	10 月 28 日（土） 来館者 523 人
図書館の怪	12 月 3 日（日） 参加者 24 人

情報発信事業	・本めぐり旅 図書館サポーターズストーリーナッツ会員 ・季刊誌「かやの木便り」年3回発行 毎回500部を各学校、施設へ ・Facebook年間記事アップ数126回 閲覧数28,014回 ・インターネット蔵書検索による蔵書情報、図書館情報の発信利用累計223,712回
施設連携事業	・ゆめりあ花と緑の交流広場 図書の貸出 3回入替 586冊 ・ゆめりあちび鉄 図書の貸出 12回 360冊 ・県農業振興課（伝承野菜） 図書館連携展示2回 ・里親パネル展示
学校図書館支援	・ふるさと学習、調べ学習対応 23件 ・新庄小学校クラブ活動への協力 8回 延べ80人 ・校外学習、図書館見学 17件 467人 ・職場体験 11件 10人

◆市民文化会館（10款5項5目 市民文化会館管理事業費）

（1）施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄（令和2年4月1日～令和7年3月31日）

指定管理料 50,596,000円

②利用状況

- ・利用者数 69,695人（前年度71,498人 1,803人減）
- ・利用料金 8,314,900円（前年度8,471,450円 156,550円減）

③施設整備

- ・修繕料 2,293,280円
空調機ロールフィルター取替修繕、非常用発電装置空気槽修繕 等
- ・設計業務委託料 1,760,000円
小ホール舞台照明設備改修工事実施設計業務
- ・工事請負費 19,492,000円（前金払）
小ホール舞台照明設備改修工事

④新庄市民文化会館運営審議会の開催 5月25日（木） 会場 市民文化会館 出席委員5人

（2）各種事業の開催

①指定管理者自主・共催事業

山響スペシャルコンサート（共催事業）	4月23日（日）	1,000人
DRUM TAO 30周年記念新作舞台 「THE TAO 夢幻響」（自主事業）	7月12日（木）	980人
新庄トロンボーン四重奏団サマーコンサート（共催事業）	8月13日（日）	130人
第62回村山最北地区演劇合同発表会（共催事業）	9月10日（日）	300人
綾小路きみまろスーパーライブ（共催事業）	9月30日（土）	700人
合唱団キャッスルサイド定期演奏会（共催事業）	3月10日（日）	136人

②市からの委託事業

小中学校演劇鑑賞教室	6月1日（木）、7月5日（水）、7日（木）	2,450人
------------	-----------------------	--------

③継続事業

サマーコンサート	6月24日（土）	130人
第29回市民演劇祭	9月28日（日）、11月11日（土）、12日（日）	500人

第 59 回新庄市芸術祭	9 月 1 日(土)～12 月 27 日(水)	4,500 人
第 47 回最上地区吹奏楽祭	10 月 6 日(金)～10 月 7 日(土)	500 人
第 60 回市民音楽祭	11 月 3 日(金)	300 人

◆雪の里情報館（10 款 5 項 9 目 雪の里情報館管理事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 一般社団法人とらいあ（令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

指定管理料 19,775,000 円

②利用状況

・利用者数 16,592 人（前年度 13,810 人 2,782 人増）

・利用料金 828,560 円（前年度 701,960 円 126,600 円減）

③施設整備

・修繕料 1,848,319 円

冷温水発生機 2 号機溶接部品交換修繕、雪室投入口蓋修繕 等

④雪の里情報館運営協議会の開催 5 月 31 日(水) 出席委員 4 人

(2) 各種事業の開催

①自主事業

講座「今和次郎の世界と雪調の時代」	6 月 18 日(日)、8 月 20 日(日)、 9 月 24 日(日)	参加者延べ 97 人
雪調公文書ゼミ	5 月 19 日(金)～3 月 15 日(金)11 回	参加者延べ 68 人
新庄の水辺探訪	5 月 20 日(水)	参加者 14 人
雪調映像資料から考える新庄	6 月 2 日(金)、8 月 4 日(金)、 10 月 6 日(金)、12 月 1 日(金)	参加者延べ 42 人
トンガリ土民市(旧ゆきさとオーガ ニックマルシェ)	7 月 30 日(日)、10 月 29 日(日)	参加者 357 人
ゆきカフェ	1 月 20 日(土)	参加者 16 人
夏休みイベント	8 月 1 日(火)～31 日(木)	
探求学習、課題研究等の成果発表展 示会	12 月 22 日(金)～1 月 28 日(日)	
雪調が取り組んだ手仕事体験	12 月 16 日(土)	参加者 21 人
雪の里まつり	2 月 3 日(土)、4 日(日)	協力団体 4 団体 参加団体 7 団体
雪国ギャラリー「市竹公房漆工芸展」	4 月 5 日(土)～5 月 28 日(日)	
雪国ギャラリー「雪のフォトコンテ スト in ゆきさと 2023」	6 月 10 日(土)～7 月 30 日(日)	
雪国ギャラリー「もうひとつの新庄 まつり展」	8 月 9 日(水)～9 月 24 日(日)	
雪国ギャラリー「竹芳書道会展」	10 月 4 日(水)～11 月 25 日(土)	
雪国ギャラリー「雪のこえを聴く～ 雪と暮らしと私たち～」	12 月 6 日(水)～1 月 28 日(日)	
雪国ギャラリー「令和 5 年度ゆきさ と作品展」	2 月 4 日(日)～3 月 17 日(日)	
戸塚喜八思い出写真館	5 月 10 日(水)～5 月 17 日(水)	

②市からの委託事業

ゆきんこ俳句展	審査 1月28日(日) 表彰 2月17日(土)	最上管内小学校 16校 3～6年生 430点
夏のゆきんこクラブ	8月4日(金)	参加者 小学校4～6年生 21人
冬のゆきんこクラブ	1月20日(土)	参加者 小学校4～6年生 14人

◆わくわく新庄（10款5項10目 わくわく新庄運営事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 株式会社東北情報センター（令和4年4月1日～令和9年3月31日）

指定管理料 21,180,000円

②利用状況

- ・利用者数 42,216人（前年度40,862人 1,354人増）
- ・利用料金 3,824,020円（前年度3,716,810円 107,210円増）

③施設整備

- ・修繕料 3,437,500円

エレベーターP L Cユニット入替修繕、事務室エアコン更新修繕、非常灯交換修繕 等

④生涯学習センター運営審議会の開催 5月26日(金) 会場 新庄市民プラザ 出席委員6人

(2) 各種事業の開催

①自主事業

わくわく新庄デジカメ写真教室	5月20日(土)～9月9日(土)	104人
新庄歴史さんぽ	6月24日(土)	21人
わくわくギャラリー作品展	6月24日(土)～10月14日(土)	—
わくわく歌声タイム	5月26日(金)、6月23日(金)、 7月28日(金)	68人
わくわくメイクレッスン講座	12月23日(土)	4人
夏休み子ども学習会	8月9日(水)、10日(木)	34人
第24回わくわく新庄フェスティバル	9月2日(土)～3日(日)	800人
七所明神巡り	10月6日(金)	24人
第23回わくわく新庄ラージボール卓球大会	10月29日(日)	37人
そば打ち体験教室	12月9日(土)	19人

②共催事業

わくわく新庄囲碁教室	4月12日(水)～3月13日(水)	547人
第41回金沢町おさいど雪祭り大会	1月27日(土)	約400人

＜成果＞指定管理者による各種事業の実施により、多くの市民に生涯学習の機会を提供することができた。また、適正な施設管理と、利用者の安全を第一に計画的な修繕により、より良い環境の下での生涯学習の場を提供することができた。

8 地区公民館（10 款 5 項 3 目 地区公民館運営事業費）

（1）施設管理

①利用者数

- ・萩野地区公民館 6,433 人（前年度 4,987 人 1,446 人増）
- ・八向地区公民館 3,107 人（前年度 1,392 人 1,715 人増）

②使用料

- ・萩野地区公民館 189,040 円（前年度 181,500 円 7,540 円増）
- ・八向地区公民館 63,890 円（前年度 27,270 円 36,620 円増）

③施設整備

- ・修繕料 106,700 円

萩野地区公民館 モーターブローワーチャンバーブロック交換修繕、照明器具交換修繕 等

④公民館運営審議会の開催

- ・萩野地区公民館 5 月 30 日（火） 出席委員 6 人
- ・八向地区公民館 5 月 30 日（火） 出席委員 7 人

（2）各種事業の開催

①萩野地区公民館

- | | | | |
|------------------------|-----------------------------|--------|---------------------------|
| ・放課後子ども教室 | 5 月～2 月の月曜日 | 計 25 回 | |
| ・夏休み学習会 | 7 月～8 月 | 計 4 回 | 参加者延べ 64 人 |
| ・骨コツ貯筋体操教室 | 月 2 回火曜日 | 計 16 回 | 参加者延べ 135 人 |
| ・初心者料理教室 | 毎月第 3 水曜日 | 計 9 回 | 参加者延べ 62 人 |
| ・ヨガ教室 | 6 月～8 月の木曜日 | 計 11 回 | 参加者延べ 156 人 |
| ・実用書講座 | 毎月第 3 水曜日 | 計 12 回 | 参加者延べ 87 人 |
| ・スポーツ吹き矢教室 | 1 月～3 月 | 計 10 回 | 参加者延べ 68 人 |
| ・女性のための
「健康づくり応援講座」 | 9 月 12 日（火）、
26 日（火） | 計 2 回 | 参加者延べ 37 人 |
| ・健康増進講座 | 6 月 29 日（木）、
7 月 13 日（木） | 計 2 回 | 参加者延べ 19 人 |
| ・いきいき百歳体操教室 | 4 月～3 月の木曜日 | 計 50 回 | 参加者延べ 492 人 |
| ・萩野学園読み聞かせサークル「七色の風」 | 6 月～2 月 | | |
| ・萩野地区公民館まつり | 9 月 2 日（土）～
3 日（日） | | 参加団体 20 団体、
4 個人 282 人 |

②八向地区公民館

- | | | | |
|----------------|--------------------------|--------|--------------|
| ・放課後子ども教室 | 5 月～2 月 | 計 14 回 | 参加者延べ 229 人 |
| ・出前交番 | 9 月 13 日（水）、10 月 19 日（木） | | 参加者数 24 人 |
| ・健康講座 | 10 月 5 日（木） | | 参加者数 15 人 |
| ・正月用生け花教室 | 12 月 28 日（木） | | 参加者数 7 人 |
| ・本合海郵便局長杯輪投げ大会 | 2 月 6 日（火） | | 参加 3 団体 17 人 |

＜成果＞地区公民館の事業によって、子どもから高齢者までの地域住民が幅広い活動をする事ができ、世代間交流にもつなげることができた。

9 ふるさと歴史センター

(10 款 5 項 8 目 ふるさと歴史センター管理事業費、ふるさと歴史センター事業費)

(1) 施設管理

①利用状況

- ・観覧者数 7,679 人 (前年度 7,471 人 208 人増)
- ※内無料観覧者 2,644 人 (前年度 2,527 人 117 人増)
- ・使用料 1,451,514 円 (前年度 1,411,450 円 40,064 円増)

②施設整備

- ・修繕料 1,179,828 円 (湧水水中ポンプ取替修繕、入口屋根中樋修繕、消防設備修繕等)
- ・工事請負費 43,682,100 円 (空調設備改修工事)

③収蔵資料現況

考古資料 (12,003 点) / 民俗資料 (12,004 点) / 歴史資料・古文書 (71,791 点) / 書籍 (9,972 点) / その他の資料 (絵画・写真等) (1,783 点)
計 107,553 点 (5 年度は資料整理及び寄贈により、収蔵品数 9 点増)

④ふるさと歴史センター運営協議会の開催 5 月 23 日 (火) 出席委員 8 人

(2) 各種事業の開催

①新庄まつり最優秀山車 2 台の展示

- ・歌舞伎部門「歌舞伎十八番 外郎売 (千門町若連)」
- ・物語部門「遮那王『万里鵬翼 牛若丸』 (大正町若連)」

②新庄まつり山車行事顔見世興行 (大パネル 3200 mm×800 mm の設置)

19 町内の山車風流を歴史センター東側壁面に張り出し

③企画展示 年 11 回開催

④新庄藩校「明倫堂」講座 年 7 回 受講登録者 60 人

⑤第 37 回みちのく民話まつり

- ・「夏語り」 7 月 7 日 (金) 参加者 51 人
- ・「秋語り」 10 月 21 日 (土) 参加者 50 人

⑥伝統芸能育成事業・ふるさと塾 (昔語りこども塾)

本合海・升形小学校、萩野・明倫学園で事業展開 対象児童小学 2～6 年生
発表会 第 18 回新庄こども語りまつり 2 月 17 日 (土) 語り手児童 27 人

⑦語りの部屋 12・1 月を除く毎週日曜日

開催日数 43 日 語り手数延べ 43 人 聞き手数延べ 275 人

⑧新庄開府 400 年記念事業

- ・総会の開催 7 月 5 日 (水) 雪の里情報館
- ・歴史まちづくり推進シンポジウム
7 月 1 日 (土) 新庄市民プラザ 参加者数 116 名
- ・新庄を翔けるー今村翔吾氏編ー新庄開府 400 年記念事業×新庄中学校 (ふるさと学習)
新庄城二の丸跡発掘調査
10 月 23 日 (月) 新庄城二の丸跡 (新庄ふるさと歴史センター協)
参加者 新庄中学校 1 年生 60 名 (新庄開府 400 年となる令和 7 年に 3 年生)

- ・今村翔吾氏トークショー

10月23日（月） 新庄中学校体育館

参加者 新庄中学校1年生～3年生 180名

- ・新庄歴史遺産ガイドブックの作成（文化遺産131件、作成部数4000部）

＜成果＞常設展・企画展においては、これまで同様、新庄の風習やまつり、文化・芸術の特色を紹介することができた。また、新庄開府400年記念事業においては、総合アドバイザーである今村翔吾氏による中学校における総合学習と連携した事業の実施により、子ども達の郷土史理解の促進につながった。そのほか、伝統芸能育成事業・ふるさと塾においては、こども語りまつりを開催することで、地域の伝統芸能継承の取組みとすることができた。

10 文化財保護（10款5項6目 文化財保護管理事業費）

（1）保存整備

①国指定史跡新庄藩主戸沢家墓所

- ・史跡新庄藩主戸沢家墓所3号棟差し茅修繕 1,133,000円

②国登録有形文化財旧農林省積雪地方農村経済調査所

- ・改修工事基本設計 3,980,900円

（2）維持管理

①名勝おくのほそ道の風景地本合海の維持管理と地域の活性化の推進

- ・名勝本合海協議会 総会 5月29日（月）
- ・八向楯跡登山道までの河川沿い通路の環境整備 6月18日（日）、9月17日（日）
- ・名勝地PR用のぼり旗の製作、設置 8枚
- ・八向楯登山者記録簿用ボックス設置 9月
- ・芭蕉句碑説明看板製作への補助

②地域団体との協定に基づく市指定史跡の適正な維持管理

- ・角沢街道の丸仏 管理団体：史跡、丸仏を守る会
- ・柳の清水及び句碑 管理団体：金沢新町町内会

③消防用設備の修繕

- ・新庄藩主戸沢家墓所（瑞雲院）消防用設備修繕

（3）文化財の保護・活用に係る審議等

①文化財保護審議会の開催

9月27日（水）、11月15日（水）、2月29日（木） 3回開催

②文化財指定に向けた調査

- ・塩野原基線 国記念物登録に向けた打合せ（新庄市・鮭川村・県） 2月7日（水）

③文化財指定

- ・古文書2件、史跡1件 令和6年3月28日指定

＜成果＞文化財の適正な保護・管理を行うことで、文化財を本市の宝として次代へ引き継ぐことができた。

11 重文旧矢作家住宅管理（10 款 5 項 7 目 重文旧矢作家住宅管理事業費）

（1）保存整備

- ・重要文化財旧矢作家住宅保存修理工事 40,975,000 円
- ・重要文化財旧矢作家住宅保存修理工事監理業務 2,508,000 円

（2）管理委員会の開催

- ・11 月 21 日（火） 出席委員 5 人

（3）維持管理（12～3 月）

- ・管理人（会計年度任用職員）による日常管理
- ・燻蒸作業（月 3 回）
- ・消防用設備修繕 7,920 円

＜成果＞令和 4 年から継続して保存修理工事を実施し、経年劣化が進んでいた茅葺き屋根の葺き替え、住宅内部の補修が完了した。国指定重要文化財の適正な維持につながった。

12 次世代育成の取組（10 款 5 項 11 目 スポーツコミュニティ推進事業費）

運動の基礎である陸上を通して次世代を担う小・中学生の体力向上を目指し、小・中学生への陸上指導を行った。

（1）長距離走の指導 8 小・中・義務教育学校 72 回

＜成果＞指導育成により県縦断駅伝選手候補の小・中学生のレベルアップにつながった。

13 競技スポーツの推進（10 款 5 項 11 目 社会体育総務事業費）

（1）一般財団法人新庄市体育協会補助事業（令和 4 年 7 月より体育協会からスポーツ協会へ名称変更）

一般財団法人新庄市スポーツ協会の事業運営に対し補助を行った。 補助金 10,900,000 円

（2）新庄市総合体育大会

一般財団法人新庄市スポーツ協会へ事業の開催を委託した（13 種目）。 委託料 915,000 円

会期 8 月～2 月 参加者 選手 1,206 人 役員等 318 人 合計 1,524 人

（3）新庄市体育表彰

スポーツの振興に顕著な功績があった者及び各種競技大会において優秀な成績を収めた者に対して表彰を行った。

＝ 新庄市表彰 ＝

・あじさい表彰	該当なし	個人 0 人	団体 0 団体
・感謝状	該当なし		
・奨励賞	個人 49 人	団体 5 団体	
計	個人 49 人	団体 5 団体	

＝ 新庄市スポーツ協会表彰 ＝

・スポーツ協会特別表彰	個人 2 人	団体 0 団体	
・スポーツ振興功労賞	該当なし	個人 0 人	団体 0 団体
・優秀指導者賞	該当なし		
・殊勲賞	個人 28 人	団体 3 団体	
・飛翔賞	個人 37 人	団体 2 団体	
計	個人 67 人	団体 5 団体	

(4) 市民体力テスト

スポーツ庁からの調査依頼により、市民の体力・運動能力の現状現状を把握するため、市民体力テストを実施した。

期 日 8月6日(日)・10月3日(火)

会 場 山屋セミナーハウス・升形小学校

対象年齢 35歳～39歳まで・40歳～44歳まで

参加者 1回目 25人(男8人・女17人)、2回目 56人(男27人・女29人)

(5) 新庄市運動競技大会出場選手奨励事業

全国大会に出場した選手、監督またはコーチ等に奨励金を支給した。

・奨励金支給実績 個人50人、団体2団体(新東柔道・新東バドミントン) 奨励金700,000円

(6) 新庄市立学校各種大会出場奨励金・助成金事業(令和4年度に学校教育課から事業移管)

東北大会や全国大会に出場した児童生徒に奨励金・助成金支給した。

・奨励金支給実績 個人44人(東北大会20人・全国大会24人・団体1組) 奨励金550,000円

・助成金支給実績 57人(東北大会20人・全国大会24人+13人/1団体) 助成金850,816円

＜成果＞市のスポーツ振興の一翼を担う新庄市スポーツ協会への活動助成等を行うことにより、スポーツ振興におけるソフト面を充実することができた。また、山形県大会以上の大会で優秀な成績を収めた選手及び指導者を広く顕彰し、全国大会に出場した選手・監督・コーチ等に奨励金、または児童生徒は東北大会・全国大会の出場者に奨励金と助成金を支給することにより、競技の底辺拡大から競技者の意欲向上、さらには競技力向上につながった。

14 各種スポーツ大会の開催(10款5項11目 社会体育総務事業費)

市民の競技力向上や体力づくり・仲間づくりを目的とし、関係団体と連携してスポーツ大会を開催した。

(1) 第45回新庄市総合体育大会

主 催 新庄市総合体育大会実行委員会(事務局：新庄市スポーツ協会 委託事業)

期 日 8月6日(日)～2月18日(日)

会 場 市体育館他、市民球場、新北グラウンド、セミナーハウス、日新小・中体育館、市テニスコート、市武道館・弓道場、萩野学園体育館

参加者 13種目 1,524人(バレーボール、野球、バドミントン、ソフトボール、空手道、剣道、ソフトテニス、弓道、合気道、卓球、柔道、バスケットボール、サッカー)

※上記のほかスキー競技の開催を予定していたが、主管団体の都合により中止した。

(2) 第30回新庄市スポーツ・レクリエーション祭

主 催 新庄市・新庄市教育委員会・新庄市レクリエーション協会

期 日 令和5年9月2日(土)・3日(日)・10日(日)

会 場 かむてん公園、セミナーハウス、市民プラザ、エコロジーガーデン、改善センター、市体育館、すぽーていあ、わくわく新庄

参加者 8種目 283人・(グラウンドゴルフ44人、ペタンク8人、パークゴルフ33人、バウンドテニス12人、モルック17人、ラージボール卓球24人、健康体操134人、民踊11人、)

※上記のほかターゲットバードゴルフの開催を予定していたが、主管団体の都合により中止した。

(3) 第1回新庄キャッスルサイドリレーマラソン大会

主 催 新庄市、新庄市教育委員会、(一財)新庄市スポーツ協会

主 管 新庄リレーマラソン大会実行委員会

期 日 10月14日(土)

会 場 最上公園周辺周回コース

(スタート・ゴール/新庄城址(最上公園)前 リレーゾーン/新庄市民文化会館前)

参加者 リレーマラソン 一般の部 177人(32チーム)、小中学生の部 52人(9チーム)、

ソロ 男子の部 11人、女子の部 1人

<成果>子どもから高齢者まで、多くの市民が参加できるような各種スポーツ大会を開催することによって身体を動かす機会が増え、市民の体力向上につながった。

15 駅伝強化対策事業(10款5項11目 社会体育総務事業費)

山形県駅伝競走大会「新庄・最上チーム」の実行委員会事務局として、第11期強化対策事業(令和6年度まで)として強化選手1名を配置し、チームの競技力向上を図った。

強化選手 奥山 智広(最上町教育委員会)

(1) 第67回山形県縦断駅伝競走大会

主 催 山形陸協・山形県体協・山形県教委・山新・13市・13市教委

期 日 4月27日(木)~29日(土) 成績 新庄・最上チーム 総合第8位

(2) 第39回山形県女子駅伝競走大会

主 催 山形県陸協・山新

期 日 11月19日(日) 成績 新庄・最上チーム 総合第11位

(3) 第65回山新杯ベーダー駅伝競走大会

主 催 米沢市陸協・米沢市教委・山新

期 日 11月12日(日) 成績 新庄・最上チーム 第8位、新庄・最上女子駅伝チーム 第6位、新庄・最上女子ジュニアチーム 第3位

<成果>山形県縦断駅伝競走大会は前回を超える総合8位で大会を終えることができた。また、山形県女子駅伝競走大会は前回よりも順位を下げてしまい、総合11位となった。男女ともに練習会を重ね、各種大会や記録会に参加することで競技力向上を図った。縦断駅伝では高校生、大学生の活躍で3日目を4位で終え、区間賞の獲得もできた。

16 体育施設の管理運営(10款5項12目 体育施設の管理運営事業費・市民スキー場管理運営事業費)

(1) 指定管理者制度の活用

①体育館外7施設

受託者 一般財団法人新庄市スポーツ協会(令和3年4月1日~令和8年3月31日)

指定管理料 72,685,000円(利用料金制)

②市民スキー場

受託者 一般財団法人新庄市スポーツ協会(令和3年4月1日~令和8年3月31日)

指定管理料 28,156,000円(利用料金制)

③北辰屋内運動場

受託者 一般財団法人新庄市スポーツ協会（令和４年４月１日～令和８年３月３１日）

指定管理料 ３,４７３,０００円（利用料金制）

(２) 体育施設巡回点検 定期巡回及び緊急点検の実施

(３) 体育施設の維持管理（修繕等の状況）

①修繕料

施設名	修繕名	金額（円）
体育館	駐車場舗装修繕	330,000
市民球場	音響装置修繕	216,700
	スタンド階段手摺りがたつき修繕	145,200
	ダックアウト排水詰まり修繕	145,640
陸上競技場	スタンド観覧席各所塗装修繕	2,123,000
東山テニスコート	通路排水修繕	753,500
	駐車場照明増設修繕	250,800
市民スキー場	ペアリフト制動装置油圧ユニット修繕	2,563,000
	高圧気中開閉器更新修繕	1,177,000
	圧雪車点検整備修繕	4,535,685
	第二キュービクル内機器更新修繕	2,197,800
	照明灯安定器及びランプ交換修繕	704,000
計	12件	15,142,325

②工事請負費 ０円

(４) 体育施設の利用状況

①利用者数

(単位：人)

施設名	団 体				個 人		利用者数 合計	前年度 (増減)
	団体数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)		
体育館	1,781	1,724 (57)	33,652	28,602 (5,050)	964	947 (17)	34,616	29,549 (5,067)
武道館	1,142	1,110 (32)	12,513	11,336 (1,177)			12,513	11,336 (1,177)
市民球場	1,829	1,528 (301)	26,693	30,779 (△4,086)			26,693	30,779 (△4,086)
福田運動 広場	65	91 (△26)	1,272	2,065 (△793)			1,272	2,065 (△793)
福田テニ スコート	0	7 (△7)	0	26 △26)	29	53 (△24)	29	79 (△50)
横根山 運動広場	廃止	10 (△10)	廃止	179 (△179)			廃止	179 (△179)
陸上競技 場	1,338	1,288 (50)	15,880	13,542 (2,338)	312	377 (△65)	16,192	13,919 (2,273)
市テニス コート	1,184	1,296 (△112)	10,702	13,805 (△3,103)	1,107	1,160 (△53)	11,809	14,965 (△3,156)
市民プー ル	0	2 (△2)	26	20 (6)	3,872	1,695 (2,177)	3,898	1,715 (2,183)

市民スキー場					2,414	10,936 (△8,522)	2,414	10,936 (△8,522)
北辰屋内運動場	427	302 (125)	4,896	3,551 (1,345)			4,896	3,551 (1,345)
計	7,766	7,358 (408)	105,634	104,412 (1,222)	8,698	15,168 (△6,470)	114,332	119,580 (△5,248)

②利用料金 (単位：円)

施設名	利用料金	前年度	増減
体育館	1,081,800	1,109,130	△27,330
武道館	808,695	803,880	4,815
市民球場	1,217,740	1,289,590	△71,850
福田運動広場	33,400	32,100	1,300
福田テニスコート	2,200	5,800	△3,600
横根山運動広場	廃止	1,500	△1,500
陸上競技場	223,275	224,975	△1,700
市テニスコート	1,051,930	1,091,720	△39,790
市民プール	232,480	99,200	133,280
市民スキー場	723,460	3,959,750	△3,236,290
北辰屋内運動場	36,360	45,000	△8,640
計	5,411,340	8,662,645	△3,251,305

＜成果＞日々の管理・運營業務における調整や指定管理者連絡会議等を通し、指定管理者との情報共有や連携を深め、また、老朽化した施設については、計画的・効果的、かつ緊急時には柔軟に修繕等を実施したことで施設の安全性・利便性・快適性及び危機管理の向上につなげることができた。

17 山屋セミナーハウス (10 款 5 項 13 目 山屋セミナーハウス管理運営事業費)

(1) 施設管理

①利用状況

- ・利用者数 11,959 人 (前年度 9,109 人 2,850 人増)
- ・使用料 975,260 円 (前年度 702,320 円 272,940 円増)

②施設整備

- ・修繕料 884,367 円
厨房内給湯配管更新修繕、消防設備修繕 等
- ・工事請負費 0 円

＜成果＞屋内運動場と宿泊機能を兼ね備えた体育施設として、スポーツ少年団の活動や部活動、サークル活動など、スポーツ活動や文化活動の場を提供することができた。